

公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）に対するこれまでのまとめと確認

公共施設再配置計画策定検討委員会 公共施設等の維持保全・有効活用計画（案）（第1章～第5章について）意見一覧

章	ページ	内容	検討会での議論
2	13、14	公共施設等に係る保全・更新費の推計	・予防保全の視点を入れた上での試算をしているのは良い。
3	17	公共施設マネジメントへの取組み	・インフラ施設や学校建築物についてはそのまま確保し、一般公共建築物だけを見て縮減して数字をあわせるのは無理があるのでは。将来的に子どもの数減ることを踏まえると学校についても考えていくべき。
	18	本計画での取組み	・財政面を考えると、建物の再編、廃止という形となるのは当たり前のことだと思う。機能をどうするか、複合化や集約をするのはとても大事。維持費が削減されるに越したことはないので、必要な機能は点在するのではなく集約してほしい。
4		施設評価	・施設評価の分析として、光熱水費だけで比較しているが、建物のライフサイクルコストにはそれ以外に保守点検、警備、清掃などが加算される。人件費なども掛かってくる。また区分所有では管理経費（共益費等）がすごくかかるのが一般的。 ・地域施設の施設評価をする際、利用者数評価について、公民館は地域性が高いので全市人口よりも地域人口で割った稼働率のほうが実勢に合うのでは。
5	33～40	本計画策定に基づく取組み	他自治体の取組みを河内長野市に活かしていく前向きな提案で、非常に評価できる。5つの柱は非常に良いと思う。
	37	資産の有効活用基本方針	・ネーミングライツについて、施設所管課の職員の方にご理解、広告事業で有効活用できると意識改革いただけるよう、職員研修・説明会とタイアップしていくとよいのでは。
	38	維持管理マニュアル	・庁外で作成した「施設点検マニュアル」を職員研修にも活用できれば。
	39	職員研修・説明会	・公共施設だけの研修会というよりは、市全体の財産、自然も含めた施設についてのPRを。 ・市内だけでなく、市外にも目が行くような職員研修をしていく必要がある。 ・河内長野市の良さを建物のハード面だけでなくソフト面からも見えてくる、観光にもつながる、施設の活用にもなる、そうしたソフトウェアのようなものが職員の方に必要かと思う。
	39	民間技術・ノウハウ・資金活用	・市の職員が経営を真剣に考える時が来ている。税収がないのであれば他から調達するしかない。クラウドファンディングやミニ公募債など。今後の流れの中でこういう手法が必要になる。
その他の意見			<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府内で自然が楽しめる企画が組めるのは、教育施設でなく、もっと自由に施設を使える部署に所管替えしたほうが良い。 PRについて <ul style="list-style-type: none"> ・観光ブームであり、建物を残すだけでなく、どれだけ観光で施設を使ってもらえるか。宿泊しようと思わせるくらいの、散策できる、時間をつぶせる、そういう場所がないと。 ・外に向かったPRが足りない。良さを知れば行きたいと感じてもらえる。活性化の1つの方法としてPR効果を期待してみても。You-Tube、口コミ、ホームページの活用。電鉄のチケットと自治体が連携して知名度を上げるなど。 ・条例や規則などを壁と考えず、変えていく、乗り越えていくぐらいの意気込みを持って対応していただければ方策が見えてくると思う。

公共施設再配置計画策定検討委員会 施設評価結果に対する意見一覧（公共施設等の維持保全・有効活用計画（案） 第4章について）

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物（現状維持） 機能（現状維持）	市域	1	千代田台保育所	・市の施策からしても事業目的から公立保育所を1ヶ所持つのは必要であると思う。
	市域	2	子ども子育て総合センター（あいっく）	・以前は交通の便が悪い場所にあったが、今は駅前であり交通の便が良いこともあって市外からも利用がある。駅前になって良くなり、価値がある。 ・施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 ・貸館できる施設の数が多い。
	市域	11	寺ヶ池公園管理事務所	・機能は現状維持で良いが、建物の耐用年数が過ぎた後は、民間に委託しても問題ないのでは。公園行政は市が行う必要があるが、管理業務は市でなくてもでき、市の建物でなくてもできると思う。 ・国土交通省では都市公園の民営化を推奨しているので、公園の民営化ができないという考えは無くしたほうがよい。
	市域	12	学校給食センター	・維持費がかかっても市が持っておくべき。 ・アレルギー対応するにはそれなりの投資が必要。 ・施設を維持するなら、中学生全員に提供できる施設であってほしい。隣の市は小中学校の完全給食をしているのでやる気の問題と思う。
	市域	22	消防署本署	・災害時に当然必要である。
	市域	26	河内長野駅前市民センター（消費生活センター）	・他で市が利用できる良い場所があれば、そこを民間に貸して収益をあげることもできないことはない。 ・市役所の本庁にあってもいいと思う。 ・共益費などお金がかかるのであれば、利用率も低いので売ったり貸したり活用できるのでは。 ・キックスに複合化できるのでは。 ・利用者が少ない。 ・ホームページを見たら全然魅力的でなかった。
	市域	31	市営斎場	・必要な施設で、維持費がかかっても市が持っておくべき。
	市域	32	衛生処理場	・公共下水整備が進めば施設は不要になるが、普及率が100%になることは難しいだろうから、費用がかかっても持っておく必要のある施設。
	市域	39	フォレスト三日市（健康増進支援センター）	・フィットネスクラブのようなものまで行政が行う必要があるのか。内容的に市が所有して運営する必要のない施設。民間でしたらいいと思うが、できたばかりで今すぐどうこう言うことはないと思う。 ・設置目的や補助金などの壁はあるが、努力して取っ払うよう工夫してもらえれば。
	市域	42	河内長野荘	・あまり魅力がなく、行きたいと思わない。泊まるなら他のところで、とってしまう。河内長野らしさを感じられない。 ・将来的に、ある一定の縛りが外れた時には、いつまでも市が運営主体として保有しておかなければならない施設かということ、違うと思う。今のいきさつがクリアになれば、市の施設として廃止の方向に進んでもいい施設ではないか。市が所有して運営する宿泊施設としてあまり必要ではない。 ・年間賃料1,200万円を基金として積立て、今後の修繕費等に活用するとのことだが、一般的に建設費の2%のお金が年間の修繕費に必要と言われている中で年間1,200万円では賄えないと感じる。
	市域	43	くろまろの郷（ビクターセンター・レストラン）	・市直営でやるべきなのか、民間で運営することが可能ではないか。
建物（再編（改修・更新）） 機能（現状維持）	市域	23	消防署北出張所	・将来的に自治体間の広域連携が考えられる。
	市域	24	消防署南出張所	・築年数が30年以上で、将来建替えを考えていけないといけない。

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物(現状維持) 機能(再編(改善))	市域	7	市営桜ヶ丘住宅	<ul style="list-style-type: none"> ・どの市営住宅も比較的新しい施設だと感じる。 ・今後、民間借上げも含めて検討するという事で、方向性は良いと思う。
	市域	8	市営栄町住宅	
	市域	9	市営昭栄住宅	
	市域	10	市営三日市西住宅	
	市域	13	寺ヶ池公園プール	<ul style="list-style-type: none"> ・維持するためには早め早めのメンテナンスが必要。 ・維持運営するのであれば、利用料金が安いので、利用時間を増やして値上げしてもいいかと思う。
	市域	15	市民総合体育館	<ul style="list-style-type: none"> ・建築後40年くらい経っていて、将来的に残していくのであれば、どう残すかということも含めて、大きな施設についてはある程度の時期から将来性を考えていくことが大事。
	市域	16	下里運動公園(管理棟・コミュニティルーム)	<ul style="list-style-type: none"> ・うまく活用していただける民間業者があれば、新しい今のうちに渡したほうがいいのではないか。 ・民営化、民間の力を借りることも可能だと思うので、どうしてできないかを考えたほうが良い。 ・平日でも何かに利用できるような工夫をすれば有効利用できるのでは。
	市域	18	三日市幼稚園	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートで複合化の要望が多かった施設。 ・みんなが私立の幼稚園や保育園に行く必要はなく、選びたいということもあると思う。 ・近隣の小学校の空き教室などを活用して複合化しても良いのではないか。施設は無くしても機能は残してほしい。
	市域	19	滝畑ふるさと文化財の森センター(資料館)	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史資料の保存の面から必要かと思う。 ・滝畑には市域施設が3ヶ所もあり、有りすぎるのでは。 ・ダムを経緯などから施設を残さなければならないと思うが、1つの集会施設が残るのであればそれで良いのでは。 ・協議の経緯があるので大変な作業になると思うが、機能が重複している施設はあるように思うので、再編を検討していく中ではもう少しシビアに考えて、もっと有効的、効率的に使えるような方策を考えていく、地元で協力をお願いしていくことも必要だと考える。
	市域	20	滝畑ふるさと文化財の森センター(研修宿泊施設)	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと活用されるべきだが、近いけれど行きにくい。 ・寺ヶ池公園プールの利用が多いということで、こちらのプールに振り替えて利用することが考えられれば。 ・本当に必要な施設なのかと思う。宿泊機能はいらぬのでは。 ・維持管理が大変であれば他市の施設を借りるなどの考えもある。 ・近隣の市にこのような施設がないので利用する人は結構いると聞いている。 ・所管を教育委員会から観光部局に変えることも考えられる。 ・観光などの団体が使える施設として利用できるもので、施設を単体でなくうまく連携して使っていけたら。 ・滝畑には市域施設が3ヶ所もあり、有りすぎるのでは。 ・ダムを経緯などから施設を残さなければならないと思うが、1つの集会施設が残るのであればそれで良いのでは。 ・協議の経緯があるので大変な作業になると思うが、機能が重複している施設はあるように思うので、再編を検討していく中ではもう少しシビアに考えて、もっと有効的、効率的に使えるような方策を考えていく、地元で協力をお願いしていくことも必要だと考える。
市域	21	ふるさと歴史学習館(くろまる館)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光などの団体が使える施設として利用できるもので、施設を単体でなくうまく連携して使っていけたら。 	
市域	27	図書館(キックス内)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用率も高いので、だからこそ民間にやらしてもらえればと思う。 	
市域	28	市民交流センター(キックス内)	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも駐車場が混んでいる。 ・近くに文化会館(ラプリーホール)、市民公益活動支援センター(るーぷらざ)がある。 ・大きなホールがありすぎると感じる。ホール自体要るのかと思う。 ・施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 ・今後の維持管理費が大きい施設について、資金の調達する手段としていわゆる「ミニ公募債」の利用も考えられる。例えば改修に10億円が必要だとみなさんに呼びかけて、そのお金を集めるために債券を発行する。自分たちがお金を出しているのに関心が高くなるということと、それに対して市民意識が変わっていくのがメリットである。多額の維持費がかかる施設では市民からお金を借りて運用する手法も必要だと考える。 ・貸館できる施設の数が多。 ・稼働率が低い調理室について、食事の時に少しのアルコールをOKにすることで稼働率が上がった事例がある。 ・稼働条件と採算性を考慮していく中でキャッシュフローの考え方がもともと成り立っていないと思う。市民サービスという面では厳しいかと思うが、地域差が出ているのであればキャッシュフローという考えで平等化を考えても良いかと思う。 	

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物(現状維持) 機能(再編(改善)) (前ページからの続き)	市域	29	文化会館(ラブリーホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに市民交流センター(キックス)、市民公益活動支援センター(るーぷらざ)がある。 ・民間に渡すことも有りかと思う。 ・周辺の市にも大きな音楽ホールがある。今後ますますお荷物になると思う。 ・音響関係のものは劣化するので、新しくするのに大きなコストがかかる。部品を定期的に交換するだけでも多くのお金がかかる。 ・大きなホールがありすぎると感じる。ホール自体要るのかと思う。 ・施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 ・今後の維持管理費が大きい施設について、資金の調達する手段としていわゆる「ミニ公募債」の利用も考えられる。例えば改修に10億円が必要だとみなさんに呼びかけて、そのお金を集めるために債券を発行する。自分たちがお金を出しているのに関心が高くなるということと、それに対して市民意識が変わっていくのがメリットである。多額の維持費がかかる施設では市民からお金を借りて運用する手法も必要だと考える。 ・貸館できる施設の数が多い。
	市域	41	林業総合センター(木根館)	<ul style="list-style-type: none"> ・観光などの団体が使える施設として利用できるの、施設を単体でなくうまく連携して使っていけたら。 ・市民アンケートで複合化の要望が多かった施設。 ・利用者が少ない。PR不足があると思う。 ・ほかと関連付けしないと単独では難しい施設で、出し方が惜しい。活かせていないのは工夫が必要。
	地域	52	河内長野駅前市民センター(ハティホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に文化会館(ラブリーホール)や市民交流センター(キックス)があるのでどれかに集約して稼働率を上げたほうが良いのでは。 ・利用用途について、会議やサークル活動だけでなく他にも利用できるような方策を検討する余地がある。機能を柔軟に考えられないか。例えば民間の一時保育の施設など需要の多い施設に転用など。 ・施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 ・貸館できる施設の数が多い。
	地域	58	滝畑コミュニティセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・協議の中でできた施設なので、どうこうするのは難しいかもしれない。 ・ダムの経緯などから残さなければならないと思うが、この地域にそんなに多くの住民が住んでいないことを考えると、そのまま存続という考えではなく、残すなら最低限残す、減築を考えていく中で残していく方向性も大事である。 ・協議の経緯があるので大変な作業になると思うが、機能が重複している施設はあるように思うので、再編を検討していく中ではもう少しシビアに考えて、もっと有効的、効率的に使えるような方策を考えていく、地元で協力をお願いしていくことも必要だと考える。

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物(再編(改修・更新)) 機能(再編(改善))	市域	5	障がい者福祉センター (あかみね、あかみね分館)	
	市域	6	シルバー人材センター	<ul style="list-style-type: none"> 近くに福祉センター(錦溪苑)があり、複合化が考えられる。 この場所でないとダメということはない。 建物にお金をかける必要はなく、極端な話、小学校や近くのスーパーの一室でこの事業をしても良いのでは。
	市域	14	武道館	<ul style="list-style-type: none"> 観光などの団体が使える施設として利用できるのも、施設を単体でなくうまく連携して使っていけたら。 国の登録文化財であり、改修することで稼働率を上げて、立派な建物があることを市民にわかってもらいたいと思う。 施設を知らなかった。PR不足だと思う。
	市域	17	赤峰市民広場	<ul style="list-style-type: none"> 民営化、民間の力を借りることも可能だと思うので、どうしてもできないかを考えたほうが良い。 平日でも何かに利用できるような工夫をすれば有効利用できるのでは。
	市域	25	市庁舎	
	地域	53	小山田コミュニティセンター (あやたホール)	<ul style="list-style-type: none"> アンケート結果で「利用していない」が80%ということもあり、同じ人ばかりが利用されている気がする。 調理室などは地域での需要に関係なく公平性から設置されているが稼働率が低いので、本当に必要な機能について地域住民にアンケートして聞いてみてはどうか。 稼働率が全体的に低いので、もったいない。 大きなホールがありすぎると感じる。ホール自体要るのかと思う。 施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 指定管理から市直営に戻したとあるが、指定管理から一歩進んで、市民協働の方向に持っていければ。市民のみなさんが進んでボランティア的な感覚で動くような体制を地元で構築できれば素晴らしいと思う。自主的に動くのは難しいと思うのでかなりの働きかけは必要だと思う。 娯楽室、広間(地域福祉センターの利用者が優先。地域福祉センターの休館日、利用時間外のみ利用可能。)について、あまり利用されていないようなので、残すのであれば多くの人が使えようとするなど工夫しないと、改修費などまかなえない。 貸館できる施設の数が多い。 稼働率が低い調理室について、食事の時に少しのアルコールをOKにすることで稼働率が上がった事例がある。 稼働条件と採算性を考慮していく中でキャッシュフローの考え方がもともと成り立っていないと思う。市民サービスという面では厳しいかと思うが、地域差が出ているのであればキャッシュフローという考えで平等化を考えても良いかと思う。
	地域	55	清見台コミュニティセンター (くすのかホール)	<ul style="list-style-type: none"> 近くに川上公民館がある。維持管理費がかかるので本当に必要な機能について考えてほしい。 大きなホールがありすぎると感じる。ホール自体要るのかと思う。 施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 指定管理から市直営に戻したとあるが、指定管理から一歩進んで、市民協働の方向に持っていければ。市民のみなさんが進んでボランティア的な感覚で動くような体制を地元で構築できれば素晴らしいと思う。自主的に動くのは難しいと思うのでかなりの働きかけは必要だと思う。 娯楽室、広間(地域福祉センターの利用者が優先。地域福祉センターの休館日、利用時間外のみ利用可能。)について、あまり利用されていないようなので、残すのであれば多くの人が使えようとするなど工夫しないと、改修費などまかなえない。 貸館できる施設の数が多い。
	地域	57	日野コミュニティセンター (みのでホール)	<ul style="list-style-type: none"> 地域施設としているが、もっと開かれたものにするという部分で、地域限定ではなく考え方の整理をされた方が良いと思う。 グラウンドが広く駐車場として利用できるのも大きなイベントにも対応できる。 大きなホールがありすぎると感じる。ホール自体要るのかと思う。 施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 協議の経緯があるので大変な作業になると思うが、機能が重複している施設はあるように思うので、再編を検討していく中ではもう少しシビアに考えて、もっと有効的、効率的に使えるような方策を考えていく、地元で協力をお願いしていくことも必要だと考える。 貸館できる施設の数が多い。 稼働率が低い調理室について、食事の時に少しのアルコールをOKにすることで稼働率が上がった事例がある。 稼働条件と採算性を考慮していく中でキャッシュフローの考え方がもともと成り立っていないと思う。市民サービスという面では厳しいかと思うが、地域差が出ているのであればキャッシュフローという考えで平等化を考えても良いかと思う。

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物（現状維持） 機能（再編（統合・集約））	市域	4	福祉センター（錦溪苑）	<ul style="list-style-type: none"> ・近くにあるシルバー人材センターの機能を複合化しても良いのではないかと。色々な方が交流するという点で、刺激し合えるのでは。 ・何回か無料講座に出席したことがあるが、会議室などはけっこう空いている気がする。 ・老人会の方が使っているイメージがある。 ・設置目的が違うのかもしれないが、市内のコミュニティセンターと使われ方がほとんど変わらないのでは。建物の再編統合とはならないのか。 ・そもそもの設置目的では「概ね60歳以上の人と介護者、障がい者と介護者および母子家庭の母子」の方々が使える場所であったのが、シニアのかなり元気な方の生きがいづくりになっていて、設置目的から利用目的が全く変わってしまっているのではそのあたりを考えなくてはならない施設だと思う。 ・貸室として、普通であれば利用者負担が要るところを、こちらは無料で使えるということでこの施設は大きな負担となっている。 ・保健センター、フォレスト三日市（乳幼児健診センター）は機能が重複しており、福祉センター（錦溪苑）でも母子福祉を若干担っているのでは、効率化を図るのであればこの3施設を1ヶ所にまとめてもいいのでは。フォレスト三日市が一番新しい施設で将来維持しやすいのであれば、ここにまとめてしまうことも考えられる。 ・お風呂が16時までだと、母子福祉の方は利用がなかなか難しいのでは。役割が中途半端な気がする。 ・お風呂を残すのであれば、福祉的な利用の方は100円、それ以外の一般の方は少し利用料を上げて利用できるようにすることも考えられる。 ・基本的に地域福祉センターのお風呂はやめるとして、一つの考えとして、河内長野市など他にお風呂のある施設や他の宿泊施設との連携でお風呂を利用させていただく、そのためには市が負担することになるかもしれないが、施設を維持するよりもその方が安いと思う。民間側の収益もあがっていくわけで、そういうことを考えてソフト面でカバーできたら。
	市域	33	休日急病診療所	<ul style="list-style-type: none"> ・休日急病診療所として存続することを条件に、無料で施設を医師会に渡して、建物管理をしてもらうのはどうか。 ・夜間だけでもいいので、乳幼児の休日救急の機能を加えてほしい。 ・日曜、夜間の乳幼児の救急医療施設は、南河内の市町村が苦勞して確保されたと聞いている。要望は切実だと思うが、医師がどうしても少なく、医師会との交渉が難しいと聞いている。 ・休日急病診療所と保健センターが隣接しているのは条件的に良いと思う。 ・他自治体では診療所と福祉部門を合体した建物が望ましいという考え方もあるようだ。
	市域	34	保健センター	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、フォレスト三日市（乳幼児健診センター）は機能が重複しており、福祉センター（錦溪苑）でも母子福祉を若干担っているのでは、効率化を図るのであればこの3施設を1ヶ所にまとめてもいいのでは。フォレスト三日市が一番新しい施設で将来維持しやすいのであれば、ここにまとめてしまうことも考えられる。 ・休日急病診療所と保健センターが隣接しているのは条件的に良いと思う。
	市域	35	フォレスト三日市（市民ホール）	<ul style="list-style-type: none"> ・例えばホールを集約してフォレスト三日市に一定のスペースができれば、各地域の公民館を集約させて、新たに中央公民館的な機能とすることもできないかと考える。200人収容のホールは会議室的なもので、備品交換にお金がかかるような大きな設備はなく、規模的に公民館レベルだと思うので社会教育的な使い方もできると思う。 ・設置目的や補助金などの壁はあるが、努力して取っ払うよう工夫してもらえれば。 ・大きなホールがありすぎると感じる。ホール自体要るのかと思う。 ・施設使用料について、同じような広さで同じような内容の活動であれば、同じような料金設定に整理することも必要。 ・貸館できる施設の数が多い。
	市域	37	フォレスト三日市（情報コーナー）	<p>（平成29年3月末で廃止）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の施設を利用して、観光をPRする。旅行会社とタイアップして売り込みを行うなどPR活動の場としてここを使っていく、イベントや企画を配信する場所としての活用などを考える必要がある。 ・設置目的や補助金などの壁はあるが、努力して取っ払うよう工夫してもらえれば。
	市域	38	フォレスト三日市（乳幼児健診センター）	<ul style="list-style-type: none"> ・保健センター、フォレスト三日市（乳幼児健診センター）は機能が重複しており、福祉センター（錦溪苑）でも母子福祉を若干担っているのでは、効率化を図るのであればこの3施設を1ヶ所にまとめてもいいのでは。フォレスト三日市が一番新しい施設で将来維持しやすいのであれば、ここにまとめてしまうことも考えられる。 ・設置目的や補助金などの壁はあるが、努力して取っ払うよう工夫してもらえれば。

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物(再編(改修・更新)) 機能(再編(統合・集約))	地域	54	小山田地域福祉センター(あやたホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 姑はよく民間浴場施設を利用しているが、こうした施設のことは知らないのでは、知らない人が多いのでは。もっと多くの人に知ってもらおうとか、年齢の低い人にも開放するとか、もっと多くの人利用できるようにしたほうが良いと思う。
	地域	56	清見台地域福祉センター(くすのかホール)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日のガス代、水道代がかかる施設である。 ・ 地域福祉センターは地域施設で地理的、アクセス的に非常に限られた人の利用になり、経費の割に限られた人だけが非常に恩恵を受けている。例えば福祉センター(錦溪苑)に機能集約し、各地域にまんべんなくバスを巡回させる。施設の維持管理よりは安いので、そういうソフト面を検討して具体化できたら。 ・ お風呂が16時までだと、母子福祉の方は利用がなかなか難しいのでは。役割が中途半端な気がする。 ・ お風呂を残すのであれば、福祉的な利用の方は100円、それ以外の一般の方は少し利用料を上げて利用できるようにすることも考えられる。 ・ 基本的に地域福祉センターのお風呂はやめるとして、一つの考えとして、河内長野市など他にお風呂のある施設や他の宿泊施設との連携でお風呂を利用させていただく、そのためには市が負担することになるかもしれないが、施設を維持するよりもそのほうが安いと思う。民間側の収益もあがっていくわけで、そういうことを考えてソフト面でカバーできたら。
	地域	44	川上公民館	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公民館が無料で使えるのは、河内長野市はあまりにも安すぎる。使用料の見直しをしていくべきで受益者負担の考え方を市民にご理解願うことが重要である。施設を使っていない人もその施設のために負担しているということを市民の方が認識された上で、施設を使うのであればもう少し値段を上げるべきだと声が挙がってきてもいいと思う。 ・ 公民館を利用する人は、特定の団体が多い気がする。 ・ 例えばホールを集約してフォレスト三日市に一定のスペースができれば、各地域の公民館を集約させて、新たに中央公民館的な機能とすることもできないかなと考える。個人的には多すぎると思う公民館を古いところから廃止していくように考えられなくはないかなと思う。 ・ 人件費など建物の維持管理費以外のランニングコストがかかっているそう。 ・ 稼働率が他市に比べて著しく低いと驚いた。 ・ 各地域公平にということでバランスを取って配置しているのだと思うが8館は多すぎる。極端に中央公民館1館にしてしまうか、市域に2館にするなど。稼働率が低い要因の一つは施設数が多いからでは。 ・ 生涯学習施設ではあるが、実際はクラブ活動的な利用が多いのでは。地域にどの程度そういう活動をする方がいるのかも疑問。 ・ 市の財政状況や類似施設の多さから施設の複合集約化が不可避であり、市民も納得されると思う。 ・ 公民館は教育委員会の所管施設なので社会教育法の縛りがあるが、思い切って事務局と教育委員会でその辺を整理する必要があると思う。 ・ 地域によっては機能的に重複する施設があるところもあるので、集約、再編の検討といった方向で良いと思う。 ・ コミュニティセンターと機能が重複している地域は集約しても良いかと思う。 ・ 公民館には図書室機能があって便利だと思うので、機能移転の際は図書室機能も移転していただきたい。 ・ 例えばコンビニなどの機能もあれば不便な場所にある施設でも利用者も増えるのでは。 ・ 市民アンケート結果では約7割の人には使われていない。 ・ 図書室機能は各地域にあれば確かに便利だが、例えば学校図書館を充実して一般開放するなど考えられないか。 ・ 行政財産ではなく普通財産に変えるべき。施設利用について条件の縛りがあることが、稼働率が落ちる原因となっていると思う。開館時間も9時から17時で夜は使えず稼働率が上がらないのは当たり前だと思う。 ・ 高向、千代田、三日市、天野、南花台の各公民館は他の施設と連携を取るべき。川上、加賀田、天見の各公民館は公共施設の配置を見ると公共施設は少ない地域であり、一つの考え方としてエリアマネジメントの考えから活用のできる施設として存在してあげる必要があるのかなと思う。それにあたって稼働率の低い施設はそのまま維持するのではなく、減築するなどの考え方があると思う。 ・ 普通財産に変更することで民営化の検討が可能になる。民間による地域に還元される事業展開が可能となる。収益を得ることで施設の維持管理費等に使うことができるので、こういった経営の考えを代入していかないと施設の維持が難しいと考える。 ・ 公民館が地域に本当に必要かどうか検討すべき。当然、市が根気強くサポートして整備していくことが必要。 ・ コンビニの上階に公民館を併設し、コンビニが公民館の管理を行う「コンビニ公民館」の考え方を取り入れるのも面白いのではないかなと思う。老若男女関わらず利用できるコンビニと公民館をうまく結びつけてはどうか。 ・ 放課後やクラブ帰りなど子どもが夜でも利用できる塾のようなものを開催できないか。教育的な施設、学生が使える施設の拠点があればいいなと思う。 ・ 子どもの数が減っているのでは、学校を活用して、広く点在させるより一つのところにまとめるほうが金銭的に良い気がする。施設は光熱水費など色々費用が要るので、一つにまとめられれば効率的だと思う。
	地域	45	加賀田公民館	
	地域	46	高向公民館	
	地域	47	千代田公民館	
	地域	48	三日市公民館	
	地域	49	天見公民館	
	地域	50	天野公民館	
	地域	51	南花台公民館	

施設評価	分類	番号	施設名	検討会での議論
建物(再編(改修・更新)) 機能(再編(統合・集約)) (前ページからの続き)				<ul style="list-style-type: none"> ・貸館できる施設の数が多い。 ・稼働率が低い調理室について、食事の時に少しのアルコールをOKにすることで稼働率が上がった事例がある。 ・稼働条件と採算性を考慮していく中でキャッシュフローの考え方がもともと成り立っていないと思う。市民サービスという面では厳しいかと思うが、地域差が出ているのであればキャッシュフローという考えで平等化を考えても良いかと思う。
建物(再編(処分)) 機能(再編(統合・集約))	市域	30	市民公益活動支援センター(るーぷらぎ)	<ul style="list-style-type: none"> ・近くに文化会館(ラプリーホール)や市民交流センター(キックス)がある。 ・市民交流センター(キックス)に入る余地があれば統合したほうが良い。 ・メインがソフト事業であるので統合したほうがNPO法人やボランティアの活動を分かってもらえて双方に良いと思う。
	市域	36	フォレスト三日市(窓口センター)	<p>(平成29年3月末で廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅前の施設を利用して、観光をPRする。旅行会社とタイアップして売り込みを行うなどPR活動の場としてここを使っていく、イベントや企画を配信する場所としての活用などを考える必要がある。 ・設置目的や補助金などの壁はあるが、努力して取っ払うよう工夫してもらえれば。 ・住民票等がコンビニでも交付されるというのはあまり知られていない気がする。廃止は良いと思うが、そういうPRもしてほしい。建物はなくてもサービスは必要。
建物(再編(処分)) 機能(再編(廃止))	市域	3	児童療育支援プラザ	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館しているだけで維持費が高いため将来的に処分、売却というのは当然だが、社会的、福祉的観点を加えてもいいのでは。 ・福祉部門がソフト面でフォローやサポートをきちりされるということであれば、既に自身の施設でサービスを行っている団体もあるということで、そうすると建物の必要性はないのでは。
	市域	40	滝畑レイクパーク	<p>(平成28年3月末で廃止)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖して1年経っているということで今後の活用については模索中とのことだが、使える施設については活用できればいいと思うし、市民から要望があれば使ってもらえればと思う。 ・滝畑には市域施設が3ヶ所もあり、有りすぎるのでは。 ・ダムを経緯などから施設を残さなければならないと思うが、1つの集会施設が残るのであればそれで良いのでは。 ・協議の経緯があるので大変な作業になると思うが、機能が重複している施設はあるように思うので、再編を検討していく中ではもう少しシビアに考えて、もっと有効的、効率的に使えるような方策を考えていく、地元で協力をお願いしていくことも必要だと考える。